



第5章

ソロモンとイスラエル後期のリーダーたちの祈り②

エリヤ

強力で、聞かれる祈り 神がどのような方かを思い出させる祈り



Check!

- 『聖書の祈りが私の祈りになる』（旧約編）p 207～213
- 主な引用箇所 列王記第一17章1節、20～22節、18章36～37節

? 質問

- 1 エリヤと神の間に常に交わりがあったのでエリヤは祈ることができました。エリヤが「私の仕えている神」と言うとき、そこにはどんなことが含まれていましたか？（207～208ページ参照）
あなたも、エリヤと同じように「私の仕えている神」と言えますか？
- 2 息子を亡くした母親もエリヤも、その子の死の原因を十分に認識していなかったようです。このような時に犯しやすい過ちは何でしょうか？（208～209ページ参照）それはどうして過ちになるのでしょうか？
- 3 死んでしまった息子のためにエリヤは祈りました。
あなたは、エリヤの祈りの姿勢からどんなことを学ぶことができますか？（209～210ページ参照）
- 4 神にどう呼びかけるかは、どうして祈りの結果に影響をあたえることになりますか？（211ページ参照）
あなたは、どのように神に呼びかけて祈ることが必要だと思いますか？
- 5 エリヤの祈りが目指すところは何でしたか？（212ページ参照）
今日のこの世界において、あなたの祈りが目指すところは何でしょうか？
- 6 今日読んだ箇所から、あなたは祈りについてどんなことを教えられましたか？
どんなことを実践したいと思いますか？



主なる神さま。あなたとの親しい交わりが祈りの鍵であることを悟らせて下さい。あなたがどういう方であるか、はっきりと知ることができますように。あなたの無限の可能性を、私の勝手な思いで狭くしてしまうことのないように。人々の中に、あなたに立ち返る心を生じさせる祈りができますように。